

第20回 腹部放射線研究会

The Japanese Society of Abdominal Radiology (JSAR)

プログラム

会 期：2006年5月26日（金）・5月27日（土）

会 場：東京コンファレンスセンター・品川

〒108-0075 東京都港区港南 1 丁目9-36

TEL. 03-6717-7000

http://www.tokyo-cc.co.jp/access_s.html

当番世話人：今井 裕

東海大学医学部 基盤診療学系 画像診断学

〒259-1193 神奈川県伊勢原市望星台

TEL. 0463-93-1121（内線2400）

FAX. 0463-93-6827

E-mail: jsar@m.med.u-tokai.ac.jp

<http://www.jsar.jp/>

腹部放射線研究会

	会期／開催地	当番世話人	テーマ／演題数	講演・企画等
第1回	'90 10.3 秋田県	打田日出夫 (奈良医大)	肝・胆・膵 24題	—
第2回	'91 2.23 大阪府	永井 純 (自治医大)	泌尿器・生殖器 55題	慈恵医大 第二病理 藍澤茂雄先生 「腎の腫瘍性病変」
第3回	'91 11.13 兵庫県	黒田 知純 (大阪成C.)	肝・胆・膵 46題	大阪市大 第二病理 桜井幹己先生 「肝細胞癌の類似病変」
第4回	'92 2.29 東京都	平松 慶博 (東邦大)	泌尿器・生殖器 39題	京都大 病理学 山邊博彦先生 「睾丸及び卵巣腫瘍の外科病理学」
第5回	'92 11.6 東京都	平松 京一 (慶応大)	肝・胆・膵 42題	栃木がんC. 外科 尾形佳郎先生 「膵癌における術前画像診断の意義」
第6回	'93 2.27 東京都	宗近 宏次 (昭和大)	泌尿器・生殖器 48題	東海大 病理学2 長村義之先生 「副腎及び後腹膜疾患の病理」 *フィルムリーディングセッション
第7回	'93 11.17 山口県	板井 悠二 (筑波大)	肝・胆・膵 62題	癌研究所 病理 加藤洋先生 「膵腫瘍の病理」
第8回	'94 3.12 東京都	石川 徹 (聖マ医大)	泌尿器・生殖器 58題	昭和大学 放射線科 宗近宏次先生 「前立腺癌の画像診断と病理」 コメンテーター：慈恵医大 第二病理 藍澤茂雄先生
第9回	'95 5.12-13 石川県	松井 修 (金沢大)	総合テーマ 77題	金沢大学 病理学2 中沼安二先生 「肝血行異常の病理」 *フィルムリーディングセッション
第10回	'96 5.17-18 東京都	隈崎 達夫 (日本医大)	総合テーマ 65題	K. Ivancev, MD, PhD, Malmoe Gneral Hsp. "Hepatic Tumor Blood Supply" パネルディスカッション「膵癌—その診断・治療戦略」
第11回	'97 5.9-10 大分県	森 宣 (大分医大)	総合テーマ 83題	大分医大 検査部 横山繁生先生 「子宮病変の病理」 コメンテーター 島根医大 杉村和朗先生 *フィルムインタプリテーションセッション
第12回	'98 6.12-13 大阪府	中村 仁信 (大阪大)	総合テーマ 80題	B. I. Choi, MD, Seoul National University "Liver Tumor:Recent Progress of US" パネルディスカッション「嚢胞性膵腫瘍の画像診断」 *フィルムカンファレンス（肝疾患）
第13回	'99 6.18-19 島根県	杉村 和朗 (島根医大)	総合テーマ 104題	特別企画“前立腺癌：診断から治療まで” *フィルムリーディング“タイムショック”
第14回	'00 5.11-13 山梨県	荒木 力 (山梨医大)	総合テーマ 119題	順天堂大学 第一病理学 須田耕一先生 「膵臓疾患の病理」 *フィルムリーディングセッション
第15回	01 6.1-2 兵庫県	中尾 宣夫 (兵庫医大)	総合テーマ 130題	久留米大学 病理学教室 神代正道先生 「早期肝細胞癌の病理診断をめぐる問題点」 *パネルセッション
第16回	02 5.31-6.1 大阪府	富樫かおり (京都大)	総合テーマ 131題	国立京都病院 放射線科 伊藤 剛先生 「婦人科疾患の肉眼病理」 *フィルムリーディングセッション
第17回	03 5.30-31 東京都	大友 邦 (東京大)	総合テーマ 139題	東京大学女性外科中川俊介先生「婦人科悪性腫瘍の治療における新しい指標」・東京大学 肝胆膵外科 國土 典宏先生「肝臓外科における術中超音波の進歩」 *パネルクイズセッション
第18回	04 5.28-29 長野県	角谷 眞澄 (信州大)	総合テーマ 164題	信州大学産婦人科学 小西郁生先生 「子宮肉腫の術前診断」・奈良県立医科大学病理診断学 野々村昭孝先生「奇異なる肝腫瘍“血管筋脂肪腫”の臨床病理」 *パネルクイズセッション
第19回	05 6.3-4 熊本県	山下 康行 (熊本大)	総合テーマ 170題	Special Lectur Kyoung Sik Cho,M.D. & Byung Ihn Choi,M.D. 熊本大学 婦人科学分野 片淵 秀隆先生「エニグマティックな婦人科疾患：子宮内膜症」 *パネルクイズセッション

第20回 腹部放射線研究会

当番世話人 今井 裕
東海大学医学部 基盤診療学系 画像診断学

この度、これまで腹部放射線領域の発展において重要な役割を担ってきました第20回腹部放射線研究会をお世話させて頂くことになりました。身に余る光栄とその責任の重さに身の引き締まる思いです。

本研究会は、平成2年（1990年）に第1回が開催されて以来、歴代の会長はもとより、多くの世話人や幹事の先生方のご尽力により、さらに毎日の診療に真剣に取り組んでおられる先生方によりなされる貴重な報告例のお陰をもちまして今日の輝かしい業績と発展が築かれて参りました。今回も、すべて病理組織学的な裏付けを有する症例のみを取り上げ、本研究会の目的は、あくまでも打田日出夫先生ならびに故板井悠二先生の理念とする“画像から病理・病態を診る”にあります。最近では、CTやMRI装置の進歩は目を見張るものがあり、さらにPET装置をはじめとする機能診断も行われるようになり、これまで以上に病理組織所見に迫る画像診断が可能になってきました。このような時代背景のなかで、新たな画像所見も経験され、改めて画像所見とマクロを含めた病理所見との対比による再検討が必要になってきたと言えます。したがって、口演発表の各セッションでは、これまでと同様にコメンテーターとして5名の病理医の先生をお迎えし、病理組織像の解説や質疑応答に参加して頂きます。婦人科領域では、東海大学の安田政実先生、泌尿器および後腹膜領域では、横浜市立大学の長嶋洋治先生、消化管および後腹膜領域では、慶應義塾大学の向井万起男先生、肝臓領域では、慶應義塾大学の坂元亨宇先生、膵臓領域では、昭和大学の諸星利男先生に病理コメンテーターをお願いしています。有意義で活発な討論を期待しています。

今回は肝臓のセッションで病理コメンテーターを担当して頂く坂元亨宇先生に「マクロを中心とした肝臓の進展様式」、また膵臓のセッションでは諸星利男先生に「膵嚢胞性病変の組織像」の基調講演をお願いしています。参加された方々には、病理専門医の先生方のご講演を通じ、画像所見に対してさらに正しい理解を深めて頂きたいと考えています。また、5月26日（金）の昼には、GE横河メディカル社共催のランチョンセミナーの講演を山口慶一郎先生に、同日の夕方には、フィリップスメディカルシステムズ社共催のサテライトセミナーを落合礼次先生と兼松雅之先生に、5月27日（土）の昼には、シーメンス旭メディテック社共催のランチョンセミナーの講演を磯田裕義先生をお願いしています。ゆっくりと食事を召し上がりながら、お話を伺えることを楽しみにしております。

展示発表では、5月26日（金）の夕方にポスター ディスカッションのセッションを設け、演者の先生方には決められた時間内だけ、各展示の前に立って頂き、質疑応答ができるようにいたしました。また、今回のクイズ形式の展示15演題は、すべてクイズ形式として応募いただいた発表であり発表者の意図が十分に発揮された内容です。なお、1日目の19時に解答・解説を公開しますので、それまでに皆様奮って解答用紙に記入のうえ所定の箱に投函をお願いいたします。成績上位者には、心ばかりのささやかな賞品を用意しております。

品川は東京の新しい副都心として急速に発展している街で、鉄道および空からのアクセスも非常に良好です。お帰りの時間にも余裕があらうかと思えます。また、5月26日（金）の夕方には、恒例となりました腹部放射線研究会サッカー大会も予定しています。

最後に本研究会を開催するにあたって、多数の貴重な症例を応募して頂いたすべての先生方、ご多忙のなか快く病理コメンテーター、座長、講演を引き受けて頂きました先生方、さらにランチョンセミナーやサテライトセミナーおよび製品紹介の展示に多大なご協力を頂いた各メーカーの方々に、そして研究会開催を陰で支えてくれた教室員に心から感謝いたします。

ご 案 内

1. 総合受付

- 1) 受付は、東京コンファレンスセンター・品川 5F のロビーにて、5月26日(金)～27日(土)の8:15より開始致します。
- 2) 参加費は¥5,000円です。参加費と引き換えに名札(兼出席証明書・領収書)をお受取下さい。

2. 一般演題

【一般口演】

1) 座 長

- ・ご担当頂くセッションの終了時間を厳守して下さい。一般口演の発表時間はすべて5分、討論時間は各口演につき3分(ディスカッション2分、コメント1分)とします。

2) 発表者

発表時間

- ・一般口演の発表時間は発表 5 分・討論時間 3 分です。時間厳守をお願い致します。

発表形式

- ・液晶プロジェクタによる発表ですので、ご自身のデータをご持参下さい。スライドは使えません。
- ・演台上に用意された PC を演者ご自身で操作して頂くリモートプレゼンテーションです。

受付

- ・PCの受付は、5F 大ホールロビーにございます。発表の 30 分前に試写を済ませ下さい。
(混雑が予想されますので、PC センターが空いている時に随時前もって行って頂けます様ご協力下さい。)
- ・PC 受付での発表データの修正作業は、準備進行の妨げになりますのでご遠慮下さい。

発表に関する注意事項

- ・ご発表は、リモートプレゼンテーションを使用していただきます。演台に液晶モニタとマウス、キーボードが設置されておりますので、そちらでご操作をお願い致します。
- ・PCは演台に置きませんので、発表者ツール等はご利用いただけません。予めご了承下さい。

< PC 本体を持参される方 >

- ・受付スタッフの指示に従って試写用モニタで確認をして下さい。
- ・モニタ出力端子が、Dsub-15 ピン・3 段以外はプロジェクタとの接続が出来ません。この形式以外の端子は接続用のアダプタが必要ですので必ずご持参下さい。また、バッテリー切れを防ぐため電源アダプタをご用意下さい。
- ・画面の解像度は XGA (1024 × 768) です。このサイズより大きい場合はスライドの周囲が切れてしまいますので、画面の設定を XGA に合わせて下さい。
- ・動画等がある場合には、予め受付スタッフにお伝え下さい。
- ・バックアップメディアも持参されることをお勧めします。

< データのみ持参される方 >

- ・メディアは CD-R または USB フラッシュメモリのみ受付けます。
- ・受付スタッフの指示に従ってデータをコピーして、試写をして下さい。
- ・研究会で用意しますパソコンの OS は Windows X P および Mac OS X です。アプリケーションは Windows 版の PowerPoint2003 または PowerPoint 2000、Macintosh 版の PowerPoint 2001 または PowerPoint・2004、keynote 2 です (Mac 版について互換性の関係で必ず OS X で作成して下さい)。フォントは OS 標準のもののみ対応いたします。画面の解像度は XGA (1024 × 768) です。
- ・動画等がある場合には、予め受付スタッフにお伝え下さい。なお、動画データ等の参照ファイルは全て同じフォルダに入れて下さい (PPT への貼付けリンクの確認をお願い致します)。

病理標本

- ・口演については病理の先生にコメンテーターをお願いしております。病理の先生方よりご要望のあった演題については事前にプレバートを送付頂く事になります。5 月 15 日までにプレバートを郵送頂きますようお願い致します。なお、お預かりしましたプレバートは、口演が終わりましたら会場受付にて返却いたしますのでお忘れのないようご注意下さい。

【ポスター展示】

ポスター展示については、一般展示、問題提示 (クイズ) 形式の両方で行います。展示の先生方は各自どちらの方法かをプログラムで確認のもと、作成をお願い致します。

1) 一般展示発表者

ポスター作成 (4 ページのポスター作成見本を参考に作成下さい)

- ・ポスターを掲示するパネルの大きさはパネル上 (出題): 横 115cm × 縦 90cm、パネル下 (解答解説): 横 115cm × 縦 90cm で作成下さい。

2) クイズ展示発表者

ポスター作成 (5 ページのポスター作成見本を参考に作成下さい)

- ・ポスターを掲示するパネルの大きさはパネル上 (出題): 横 115cm × 縦 90cm、パネル下 (解答解説): 横 115cm × 縦 90cm で作成下さい。
- ・出題部分には患者の年齢、性、簡単な主訴や経過、症例の画像のみを集めて作成して下さい。図説は検査法のみとし、所見の解説はつけないようお願い致します。矢印や矢頭はつけて頂いても構いません。
- ・解答解説部分には演題名に続いて、画像の説明、最終診断、症例の解説をお願い致します。出題部分と重複してお示し頂いても構いません。
- ・受付の際に 90 × 116cm の紙をお渡し致しますので解答解説部分を隠すように貼って下さい。第 1 日目の 19:00 に係りのものが紙を外して解答解説を公開致します。

ポスター提示

- ・ポスター展示会場は5階ホワイエ及び501号室です。第1日目午前11:00までにポスター会場にて展示受付をお済ませ下さい。ポスターを掲示するパネルに演題番号がついていますので、会場に用意されたマジックテープをお使いになって掲示して下さい。
- ・展示に関して座長の設定や口演発表は行いませんが、展示発表者は1日目の17:30～18:15のポスターディスカッションセッションには展示発表の前におられますようお願い致します。また、参加者から質問があった場合、お名前をお呼び致します。
- ・全プログラム終了後、直ちにポスターの撤去をお願い致します。終了後30分経過しても残っているポスターは処分致しますので、ご了承下さい。

3) 参加者

- ・ポスター展示の閲覧時間は第1日目11:00～20:00、2日目8:00～16:00です。第1日目の19:00までクイズ展示ポスターの解答・解説は隠されています。
- ・会場には解答用紙を用意しておきますので、解答・解説が発表される前に皆様奮って解答をご記入下さい。なお、解答・解説は第1日目の19:00に公開されますので、それまでに会場に用意された箱に記名のうえご投函下さい。
- ・上位の方には当番世話人が心ばかりの賞品をご用意いたします。

3. 幹事会

日 時: 5月27日(土) 7:15～8:00
場 所: 4階「401号室」

4. 世話人会

日 時: 5月27日(土) 8:15～8:55
場 所: 4階「402号室」

5. 展示クイズ企画

日 時: 5月26日(金) 11:00～19:00
場 所: 5階 ホワイエ

6. 打田賞受賞講演・表彰

日 時: 5月26日(金) 11:40～12:10

7. 基調講演

①「肝臓セッション」

日 時: 5月27日(土) 9:00～9:30
座 長: 角谷 眞澄先生 信州大学医学部 画像医学
演 者: 坂元 亨宇先生 慶應義塾大学医学部 病理学教室
『マクロを中心とした肝臓の進展様式』

②「脾臓セッション」

日 時: 5月27日(土) 13:40～14:10
座 長: 吉満 研吾先生 九州大学医学部 放射線科学教室
演 者: 諸星 利男先生 昭和大学医学部 第一病理学教室
『脾臓性病変の組織像』

8. 共催セミナー

ランチョンセミナー1 GE横河メディカルシステム(株)

日 時: 5月26日(金) 12:20～13:10
座 長: 村上 康二先生 獨協医科大学病院 PETセンター
演 者: 山口 慶一郎先生 財団法人厚生会仙台厚生病院 放射線部
『腹部領域におけるPET-CTの有用性』

サテライトセミナー (株)フィリップスエレクトロニクスジャパンメディカルシステムズ

日 時: 5月26日(金) 16:30～17:20
座 長: 村上卓道先生 近畿大学医学部 放射線医学教室
演 者: 落合礼次先生 医療法人天神会 古賀病院21 放射線科
講演1『腹部・骨盤領域におけるDWIBS法とFDG-PETとの比較』
演 者: 兼松雅之先生 岐阜大学医学部附属病院 放射線部
講演2『肝MRI—造影検査の新技术を交えて—』

ランチョンセミナー2 シーメンス旭メディテック(株)

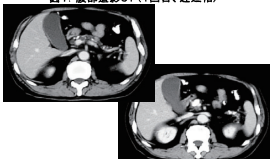
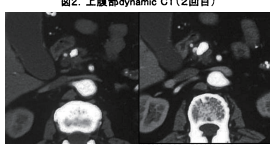
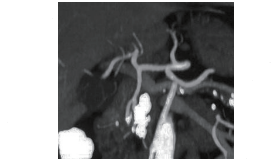
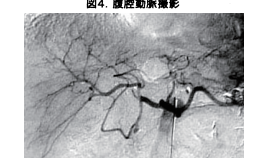
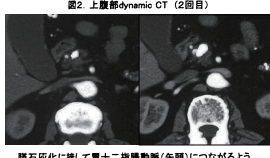
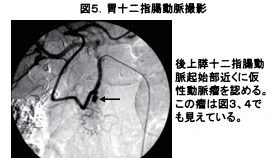
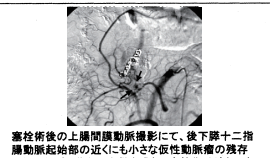
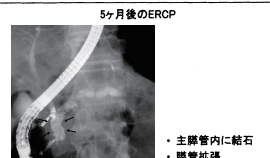
日 時: 5月27日(土) 12:10～13:00
座 長: 杉村和朗先生 神戸大学大学院医学系研究科 放射線医学分野
演 者: 磯田裕義先生 京都大学医学部附属病院 放射線部
『上腹部MRIにおける3Tの有用性』

9. 商業展示

株式会社AZE、株式会社アドバンスト・メディア、ザイオソフト株式会社/アミン株式会社、テクマトリックス株式会社

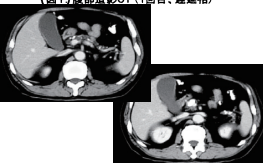
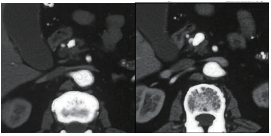
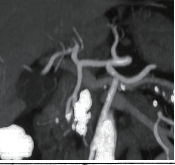
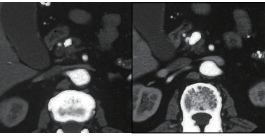
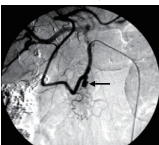
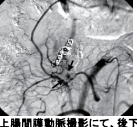
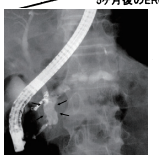
一般ポスターの見本（A4用紙に印刷してポスターを組んだ場合）

A4用紙を使った場合、上下の欄には最大3列×4行、計24枚のA4用紙が横置きで貼り付けられます。

事務局で準備します		使用しません		135mm ↓ 60mm		
塞栓術で治療した Hemosuccus Pancreaticus の1症例 亀山 匠史, 桐生 茂, 南 学, 赤羽 正章, 吉岡 直紀, 古賀 久雄, 渡辺 慎, 大友 邦 東京大学医学部附属病院放射線科		症例 68歳男性 - 主訴：下血、心窩部痛、嘔吐、冷汗 - 日本酒2合x52年 5月検診にて貧血指摘(Hb 8台)近医受診、7月頃下血が一度あり、9月に気分不快、悪心、嘔吐、下血があり、他院緊急入院。Hb5台。輸血。CT、US行っても出血源不明。11月に血便、ふらつきがあったため、当院受診。Hb 6.6と低下のため緊急入院。		入院後経過 - Hb 6.6 l/g/dl, GRP <0.3 mg/dl - 正球性貧血 (HbC 227万 l / μl, MCV 88.1) - amylase 158 IU/L, p-amylase 74.1 IU/L - 緊急上下部内視鏡 - 明らかな出血源なく、十二指腸のsecond portion にのみ血液付着 - CT (一回目)：慢性膵炎指摘、脾臓部に石灰化 - 小腸造影 - 異常なし - HSA出血シンチ - 異常なし - 輸血(MAP 2Ux3回)		900mm
図1 腹部造影CT(1回目、遅延相) 		図2 上腹部dynamic CT(2回目) 		図3. MPVR-MIP 		900mm
図4. 腹腔動脈造影 		図2 上腹部dynamic CT (2回目)  脾石灰化に接して胃十二指腸動脈(矢頭)につながるように動脈瘤(矢印)を認める。		図5. 胃十二指腸動脈造影  後上十二指腸動脈起始部近くに仮性動脈瘤を認める。この瘤は図3、4でも見えている。		900mm
塞栓術後の上腸間膜動脈造影にて、後上十二指腸動脈起始部の近くにも小さな仮性動脈瘤の残存を認めたが、膵炎の合併を恐れ、塞栓術は追加しなかった。 		5ヶ月後のERCP  - 主膵管内に結石 - 膵管拡張		Hemosuccus Pancreaticus - Sandblom P. (1970) が最初に報告 - 膵管からの大量の出血を指す - ほとんどのものが慢性膵炎に伴うもの - 仮性動脈瘤の膵管内破裂により膵管から出血 - その他に外傷性、富血性腫瘍の膵転移、迷走腺(異所性膵)などによるものも報告されている - 報告 65例(塞栓術による治療例 9例)		60mm
Hemosuccus Pancreaticus : 診断 - 出血は間欠的のため、動脈から膵管への出血が描出されるのはまれ。(Suter, 1995) - 内視鏡で主膵管からの出血をもって診断(Morse, 1983; Jacobs, 1992)。 - 内視鏡で不明なものは血管造影が有用(Shahani, 1994)。 - CTで慢性膵炎、動脈瘤。 3D-CTangiography も有用 (Malzfeldt, 1997)。		Hemosuccus Pancreaticus : 治療 - 手術 - 膵部分切除、脾摘、動脈の結紮 - 塞栓術 - 動脈瘤の近位・遠位の塞栓		Hemosuccus Pancreaticus - 慢性膵炎に仮性動脈瘤が合併する頻度は約10% (White, 1976; Hofer, 1987)。 - 慢性膵炎症例における消化管出血を見た場合には、この疾患を念頭に置いて詳細に造影する必要がある。		900mm
				80mm		
1160mm						

クイズポスターの見本（A4用紙に印刷してポスターを組んだ場合）

A4用紙を使った場合、下の解答・解説欄には最大3列×4行、上の問題欄には3列×4行、計24枚のA4用紙が横置きで貼り付けられます。

事務局で準備します		使用しません		135mm
図に番号をふっておくと解説の際に便利です（論文の様に）				60mm
症例 ・ 68歳男性 ・ 主訴：下血、心窩部痛、嘔吐、冷汗 ・ 日本酒2合×52年 ・ 5月検診にて貧血指摘（Hb 8台）近医受診、7月頃下血が一度あり、9月に気分不快、悪心、嘔吐、下血があり、他院緊急入院、Hb 5台。輸血、CT、US行っても出血源不明、11月に血便、ふらつきがあったため、当院受診。Hb 6.6と低下のため緊急入院。	図1 腹部造影CT（1回目、遅延相） 	図2 上腹部dynamic CT（2回目） 	画像所見の解説はここでは伏せて、どういう検査かのみ示しておいて下さい（Key pointがわかりにくい場合は矢印などを付け、その解説は解答・解説欄で述べて下さい）	900mm
図3 MPVR-MIP 	図4 腹腔動脈造影 			
この線を境に、解答・解説欄は下の行に、問題欄は上の行に詰めて下さい。				60mm
タイトル・発表者・施設名、それに引き続くその後の経過	塞栓術で治療した Hemosuccus Pancreaticus の1症例 龜山 征史、柳生 淳、南 孝、赤羽 正章、吉岡 直紀、古賀 久雄、渡辺 慎、大友 邦 東京大学医学部附属病院放射線科	入院後経過 ・ Hb 6.6 g/dL, CRP <0.3 mg/d ・ 正球性貧血 (RBC 227万 /μL, MCV 88.1) ・ amylase 158 IU/L, p-amylase 74 IU/L ・ 緊急上下部内視鏡 - 明らかな出血源なく、十二指腸のsecond portion へのみ血液付着 ・ CT（一回目）：慢性膵炎指摘、膵頭部に石灰化 ・ 小腸造影 - 異常なし ・ HSA出血シンチ - 異常なし ・ 輸血 (MAP 2U×3回)	図2 上腹部dynamic CT（2回目）  膵石灰化に接して胃十二指腸動脈（矢頭）につながるように動脈瘤（矢印）を認める。	初日の19時までは、ここから下の部分を縦900mm×横1160mmの紙で隠します。
図5 胃十二指腸動脈造影  後上降十二指腸動脈起始部近くに仮性動脈瘤を認める。この瘤は図3、4でも見えている。	最終診断 Hemosuccus Pancreaticus hemo=[G. ha/me] blood succus=[L.] juice	塞栓術後の上腸間動脈造影にて、後下降十二指腸動脈起始部の近くにも小さな仮性動脈瘤の残存を認めたが、膵炎の合併を恐れ、塞栓術は追加しなかった。 		
5ヶ月後のERCP  ・ 主膵管内に結石 ・ 膵管拡張	Hemosuccus Pancreaticus ・ Sandblom P. (1970) が最初に報告 ・ 膵管からの大量の出血を指す ・ ほとんどのものが慢性膵炎に伴うもの ・ 仮性動脈瘤の膵管内破裂により膵管から出血 ・ その他に外傷性、富血性腫瘍の膵転移、迷走膵（異所性膵）などによるものも報告されている ・ 報告 65例（塞栓術による治療例 9例）	Hemosuccus Pancreaticus：診断 ・ 出血は間欠的のため、動脈から膵管への出血が抽出されるのはまれ。（Suter, 1995） ・ 内視鏡で主膵管からの出血をもって診断（Morse, 1983; Jacobs, 1992） ・ 内視鏡で不明なものは血管造影が有用（Shahani, 1994） ・ CTで慢性膵炎、動脈瘤 ・ 3D-CTangiography も有用（Malzfeldt, 1997）		
Hemosuccus Pancreaticus：治療 ・ 手術 膵部分切除、膵摘、動脈の結紮 ・ 塞栓術 動脈瘤の近位・遠位の塞栓	Hemosuccus Pancreaticus ・ 慢性膵炎に仮性動脈瘤が合併する頻度は約10%（White, 1976; Hofer, 1987） ・ 慢性膵炎症例における消化管出血を見た場合には、この疾患を念頭に置いて詳細に読影する必要がある。	必要な場合はreferenceを加えて下さい		
				80mm
1160mm				

プログラム：日程表

	5月26日（金）	5月27日（土）
8:50		8:15 世話人会
9:00	8:50- 開会の辞	
	9:00-9:48 子宮	9:00-9:30 肝臓基調講演（坂元亨宇先生）
10:00	9:48-10:44 卵巣	9:30-10:18 肝臓1
		コーヒーブレイク
11:00	コーヒーブレイク	10:30-11:10 肝臓 2
	11:00-11:40 腎臓	11:10-11:58 肝臓3・脾臓
12:00	11:40-12:10 打田賞受賞講演・表彰	
	12:20-13:10 ランチョンセミナー 1	12:10-13:00 ランチョンセミナー 2
13:00		13:00-13:20 事務局連絡
	コーヒーブレイク （展示・クイズ形式展示を見る）	コーヒーブレイク（展示・クイズ形式展示を見る）
14:00	13:50-14:54 泌尿器・後腹膜	13:40-14:10 膵臓基調講演（諸星利男先生）
		14:10-15:06 膵臓 1
15:00	14:54-15:26 消化管	
	コーヒーブレイク	コーヒーブレイク
16:00	15:40-16:20 腸間膜・腹腔	15:20-16:16 膵臓 2・胆道
17:00	16:30-17:20 サテライトセミナー	16:20- 閉会の辞
18:00	17:30-18:15 ポスターディスカッションセッション （展示発表の演者は各展示の前に立ち、 質問等に対応してください）	
19:00	ポスター閲覧	
	19:00- 解答・解説の公開	
20:00		

〔発表5分、質疑3分 合計8分〕

5F



4F



8:50～ 開会の辞 当番世話人 今井 裕(東海大学医学部 基盤診療学系 画像診断学)

9:00～9:48 セッション1. 子宮(6題)

座 長 田中優美子(筑波大学 人間総合科学研究科)
コメンテーター 安田 政実(東海大学 病理診断学)

O-1 perinodular hydropic degeneration を伴った子宮筋腫の一例

南 麻紀子¹⁾、中田 一恵¹⁾、蒲田 敏文¹⁾、松井 修¹⁾、清水 博志²⁾、佐々木 博正³⁾、片柳 和義⁴⁾、
車谷 宏⁴⁾

金沢大学 医学部 放射線科¹⁾、石川県立中央病院 放射線科²⁾、
石川県立中央病院 産婦人科³⁾、石川県立中央病院 病理科⁴⁾

O-2 術後 implantation を来した粘液腫様変化を伴った子宮平滑筋腫の1例

古田 昭寛^{1,2,3)}、小林 久人¹⁾、笠原 誓子¹⁾、高橋 孝博¹⁾、芥田 敬三¹⁾、丸山 いづみ²⁾、
大江 秀明²⁾、平塚 拓也³⁾、雑賀 興慶³⁾

大津赤十字病院 放射線科¹⁾、大津赤十字病院 外科²⁾、大津赤十字病院 病理³⁾

O-3 Withdrawal

O-4 Endometrial stromal tumor with smooth muscle differentiation の1例

高濱 潤子¹⁾、廣橋 伸治²⁾、末吉 智¹⁾、武輪 恵²⁾、伊藤 高広²⁾、岩崎 聖¹⁾、吉川 公彦²⁾
東大阪市立総合病院 放射線科¹⁾、奈良県立医科大学 放射線科²⁾

O-5 筋層内に限局し多房性嚢胞性腫瘤を形成した低悪性度子宮内膜間質肉腫の1例

大彌 歩¹⁾、今井 豊¹⁾、塩原 茂樹²⁾、藤永 康成³⁾、角谷 眞澄³⁾、福島 万奈⁴⁾、小西 郁生⁵⁾
相澤病院 放射線科¹⁾、相澤病院 産婦人科²⁾、信州大学医学部附属病院 放射線科³⁾、
信州大学医学部附属病院 中央検査部⁴⁾、信州大学医学部附属病院 産科婦人科⁵⁾

O-6 後腹膜転移をきたした子宮 endometrial stromal sarcoma の一例

三宅 可奈江¹⁾、里上 直衛¹⁾、上田 浩之¹⁾、早川 克己¹⁾、岩破 一博²⁾、飛田 収一³⁾、相馬 隆人³⁾、
浦田 洋二⁴⁾、嶋田 俊孝⁴⁾

京都市立病院 放射線科¹⁾、京都市立病院 産婦人科²⁾、京都市立病院 泌尿器科³⁾、
京都市立病院 病理科⁴⁾

9:48～10:44 セッション2. 卵巣(7題)

座 長 今岡いづみ(近畿大学 放射線医学講座)
コメンテーター 安田 政実(東海大学 病理診断学)

O-7 Ovarian Borderline Serous Surface Papillary Tumor の一例

北井 里実¹⁾、富田 宗貴¹⁾、長瀬 雅則¹⁾、福田 国彦¹⁾、清川 貴子²⁾、落合 和彦³⁾
東京慈恵会医科大学 医学部 放射線医学講座¹⁾、東京慈恵会医科大学 病理学講座²⁾、
東京慈恵会医科大学附属青戸病院 産婦人科³⁾

O-8 卵巣内膜症性嚢胞に発生した Mullerian mucinous borderline tumor の2例

野村 あやの¹⁾、新本 弘¹⁾、陣崎 雅弘¹⁾、谷本 伸弘¹⁾、樋口 順也¹⁾、屋代 英樹¹⁾、栗林 幸夫¹⁾、
進 伸幸²⁾、青木 大輔²⁾、三上 修治³⁾、向井 万起男³⁾

慶應義塾大学 医学部 放射線診断科¹⁾、慶應義塾大学 医学部 産婦人科²⁾、
慶應義塾大学 医学部 病理診断部³⁾

O-9 Mature cystic teratoma with "malignant struma ovarii" の1例

佐藤 宏朗¹⁾、高橋 康二¹⁾、山田 有則¹⁾、峯田 昌之¹⁾、長沢 研一¹⁾、福岡 努¹⁾、平沼 初音¹⁾、
八巻 利弘¹⁾、油野 民雄¹⁾、荻野 元子²⁾、山下 剛²⁾、徳差 良彦³⁾、三代川 齊之³⁾
旭川医科大学 放射線科¹⁾、同 産婦人科²⁾、同 病理部³⁾

O-10 卵巣悪性 Brenner 腫瘍の一例

竹内 麻由美¹⁾、松崎 健司¹⁾、西谷 弘¹⁾、古本 博孝²⁾、苛原 稔²⁾、佐野 暢哉³⁾
徳島大学 医学部 放射線科¹⁾、徳島大学 医学部 産婦人科²⁾、徳島大学 病院病理部³⁾

O-11 卵巣 Steroid cell tumor の1例

齋田 司^{1,2)}、田中 優美子³⁾、南 学³⁾、南 里恵⁴⁾、吉川 裕之⁴⁾、池部 大⁵⁾、野口 雅之⁵⁾、
志村 玲奈⁶⁾
筑波大学附属病院 放射線・IVR科¹⁾、筑波メディカルセンター病院²⁾、
筑波大学大学院人間総合科学研究科 先端応用医学専攻 応用放射線医学分野³⁾、
筑波大学大学院人間総合科学研究科 機能制御医学専攻 婦人周産期医学分野⁴⁾、
筑波大学大学院人間総合科学研究科 分子情報・生体統御医学専攻 分子病理学分野⁵⁾、
筑波大学附属病院 産婦人科⁶⁾

O-12 線維莢膜細胞腫を伴った卵巣悪性中胚葉性混合腫瘍の一例

篠藤 誠、相部 仁、蓮尾 金博、伊藤 公輝、志多 由孝、岡本 大祐、與儀 彰、小又 優子
国立国際医療センター 放射線科

O-13 傍大動脈リンパ節転移で発症し、診断に一年半を要した左卵管癌の一例

山田 篤史¹⁾、藤本 晃司¹⁾、木下 一之¹⁾、根来 慶春¹⁾、北村 暢康¹⁾、左合 直¹⁾、井元 康文²⁾
福井赤十字病院 放射線科¹⁾、福井赤十字病院 産婦人科²⁾

10:44~11:00 コーヒーブレイク**11:00~11:40 セッション3. 腎臓(5題)**

座 長 陣崎 雅弘(慶應義塾大学 放射線診断科)
コメンテーター 長嶋 洋治(横浜市立大学 分子病態腫瘍病理学)

O-14 腎 granular cell carcinoma の一例

柳生 行伸¹⁾、下野 太郎¹⁾、岡田 真広¹⁾、任 誠雲¹⁾、葉 輝明¹⁾、米矢 吉宏²⁾、堀川 重樹³⁾、
植村 天受³⁾、筑後 孝章⁴⁾、細野 眞²⁾、村上 卓道¹⁾
近畿大学 医学部 放射線医学 診断学部門¹⁾、近畿大学 医学部 高度先端総合医療センター
PET 診断部門²⁾、近畿大学 医学部 泌尿器科学³⁾、近畿大学 医学部 病理学⁴⁾

O-15 腎細胞癌の異時性対側腎、腎盂、副腎転移の一例

古賀 清子¹⁾、屋代 英樹¹⁾、陣崎 雅弘¹⁾、谷本 伸弘¹⁾、山本 あゆみ¹⁾、栗林 幸夫¹⁾、三上 修治²⁾、
亀山 香織²⁾
慶應義塾大学 医学部 放射線診断科¹⁾、慶應義塾大学 医学部 病理診断部²⁾

O-16 腎 angiomfibroblastoma の1例

岩村 晃、桑鶴 良平、早野 敏郎、町田 治彦、河野 真理、鈴木 一史、三橋 紀夫
東京女子医科大学 放射線医学教室

O-17 Mixed Epithelial and Stromal Tumor of the Kidney の一例

中島 諭¹⁾、小山 貴¹⁾、梅岡 成章¹⁾、玉井 賢¹⁾、富樫 かおり¹⁾、三上 芳喜²⁾
京都大学医学部 放射線医学教室¹⁾、京都大学医学部 病理学教室²⁾

O-18 腎被膜から発生した脂肪肉腫の一例

橋本 真理子¹⁾、武田 和奈¹⁾、芝田 豊通¹⁾、岡田 知久¹⁾、奥野 芳茂¹⁾、日野 恵¹⁾、伊藤 亨¹⁾、
根来 宏光²⁾、川喜田 睦司²⁾
神戸市立中央市民病院 画像診断・放射線科¹⁾、神戸市立中央市民病院 泌尿器科²⁾

11:40~12:10 打田賞授賞講演・表彰

【消化器】非常に稀な男性の膵粘液性嚢胞性腺種の1例

前谷洋爾

京都大学大学院医学系研究科 画像診断・核医学科

【泌尿器・生殖器】乳頭癌を合併した卵巣甲状腺腫の1例

足立亜紀子

九州医療センター 放射線科

【展示】神経節細胞腫の1例

三宅基隆

国立癌センター中央病院 放射線診断部

12:20~13:10 ランチオンセミナー1 GE横河メディカルシステム(株)

座 長 村上 康二先生(獨協医科大学病院 PETセンター)

『腹部領域における PET-CT の有用性』

山口 慶一郎先生(財団法人厚生会 仙台厚生病院 放射線部)

13:10~13:50 コーヒーブレイク

13:50~14:54 セッション4. 泌尿器・後腹膜(8題)

座 長 後閑 武彦(昭和大学 放射線医学教室)

コメンテーター 長嶋 洋治(横浜市立大学 分子病態腫瘍病理学)

向井万起男(慶應義塾大学 病理診断部)

O-19 ポリープ状の形態を示した尿管子宮内膜症の一例

丸上 永晃¹⁾、廣橋 伸治²⁾、武輪 恵²⁾、高濱 潤子²⁾、伊藤 高広²⁾、小野田 結²⁾、岡田 博司²⁾、
吉川 公彦²⁾

奈良県立医科大学 中央内視鏡・超音波部¹⁾、奈良県立医科大学 放射線科²⁾

O-20 前立腺に発生した横紋筋肉腫の1例

橋爪 崇¹⁾、清野 哲孝¹⁾、新城 秀典¹⁾、信澤 宏¹⁾、早野 大輔¹⁾、廣瀬 正典¹⁾、後閑 武彦¹⁾、
矢持 淑子²⁾、太田 秀一²⁾

昭和大学 医学部 放射線医学教室¹⁾、昭和大学 医学部 第二病理学教室²⁾

O-21 精巣壊死の1例

小林 秀章、上田 浩之、里上 直衛、早川 克己、伊藤 靖彦、浦田 洋二

京都市立病院 放射線科

O-22 副腎の collision tumor (adenoma と hemangioma)

信澤 宏¹⁾、久保田 勇人¹⁾、濱田 健司¹⁾、太田 秀一²⁾、廣瀬 正典¹⁾、後閑 武彦¹⁾

昭和大学 医学部 放射線科¹⁾、昭和大学 医学部 第2病理²⁾

O-23 後腹膜に発生した多発骨髄脂肪腫の1例

遠藤 寛子¹⁾、田中 宏子¹⁾、井上 秀昭¹⁾、五味 直哉¹⁾、松枝 清¹⁾、河野 敦¹⁾、藤原 良将²⁾、
山田 恵子²⁾、大山 繁和³⁾、神田 浩明⁴⁾

癌研有明病院 画像診断部¹⁾、癌研有明病院 超音波検査部²⁾、癌研有明病院 消化器外科³⁾、
癌研究所 病理部⁴⁾

O-24 特発性後腹膜血腫の一例

佐々木 勉^{1,2)}、足立 秀治¹⁾、門澤 秀一¹⁾、濱中 章洋¹⁾、川口 勝徳³⁾、藤原 澄夫³⁾、埴岡 啓介⁴⁾
 兵庫県立成人病センター 放射線診断科¹⁾、兵庫県立尼崎病院 外科²⁾、
 兵庫県立成人病センター 外科³⁾、兵庫県立成人病センター 病理部⁴⁾

O-25 後腹膜脂肪肉腫と鑑別困難であった後腹膜血管筋脂肪腫の1例

井上 快児¹⁾、佃 俊二¹⁾、佐藤 洋一¹⁾、木村 文子¹⁾、平敷 淳子¹⁾、島田 志保²⁾、広瀬 隆則²⁾
 埼玉医科大学 放射線科¹⁾、埼玉医科大学 中央病理診断部²⁾

O-26 後腹膜腫瘍にて発見された schwannomatosis の一例

宮寄 俊幸¹⁾、浅山 縁²⁾、中馬 東彦³⁾、前田 勇一³⁾、大河原 進⁴⁾
 荒尾市民病院 放射線科¹⁾、荒尾市民病院 泌尿器科²⁾、荒尾市民病院 整形外科³⁾、
 荒尾市民病院 臨床病理⁴⁾

14:54~15:26 セッション 5. 消化管(4題)

座 長 齊田 幸久(聖路加国際病院 放射線科)
 コメンテーター 向井万起男(慶應義塾大学 病理診断部)

O-27 十二指腸内分泌腫瘍および多発性 GIST を合併した神経線維腫症 1 型の 1 例

香田 渉¹⁾、瀧 圭一²⁾、石田 哲也³⁾、山崎 英雄³⁾、蒲田 敏文¹⁾、松井 修¹⁾
 金沢大学医学部附属病院 放射線科¹⁾、加賀市民病院 放射線科²⁾、加賀市民病院 外科³⁾

O-28 悪性リンパ腫との鑑別が困難であった GIST の一例

矢吹 隆行¹⁾、細川 敦之¹⁾、石井 裕朗¹⁾、加地 充昌¹⁾、宮谷 克也²⁾
 三豊総合病院 放射線科¹⁾、三豊総合病院 病理²⁾

O-29 Enteropathy-type T-cell lymphoma の 1 例

玉井 賢¹⁾、小山 貴¹⁾、梅岡 成章¹⁾、磯田 裕義¹⁾、前谷 洋爾¹⁾、田中 康博²⁾、近藤 忠一²⁾、
 富樫 かおり¹⁾
 京都大学医学部 放射線医学教室¹⁾、京都大学医学部 血液内科学教室²⁾

O-30 小腸リンパ管拡張症の 1 例

松浦 智徳¹⁾、山田 隆之¹⁾、佐藤 明弘¹⁾、松橋 俊夫¹⁾、金田 朋洋¹⁾、常陸 真¹⁾、照山 和秀¹⁾、
 一瀬 あずさ¹⁾、森田 佳明¹⁾、三浦 由啓¹⁾、高橋 昭喜¹⁾、森谷 卓也²⁾、笠島 敦子²⁾、舟山 裕士³⁾、
 高橋 賢一³⁾
 東北大学 放射線診断科¹⁾、東北大学 病理部²⁾、東北大学 胃腸外科³⁾

15:40~16:20 セッション 6. 腸間膜・腹腔(5題)

座 長 白神 伸之(国家公務員共済組合連合会立川病院 放射線科)
 コメンテーター 向井万起男(慶應義塾大学 病理診断部)

O-31 腸間膜血管筋脂肪腫の一例

高田 治美¹⁾、上村 良一¹⁾、澤崎 邦廣²⁾、小林 隆司²⁾、岡田 英吉³⁾
 高岡市民病院 放射線科¹⁾、高岡市民病院 外科²⁾、高岡市民病院 病理³⁾

O-32 静脈硬化性大腸炎の一例

山下 武則¹⁾、馬庭 恵美子¹⁾、東 浩樹¹⁾、今井 茂樹¹⁾、筒井 英明²⁾、春間 賢²⁾、濱崎 周次³⁾
 川崎医科大学 放射線科¹⁾、川崎医科大学 食道胃腸内科²⁾、川崎医科大学 病院病理部³⁾

O-33 上行結腸に見られた inflammatory myofibroblastic tumor の 1 例

浅川 徹¹⁾、渡邊 佑一郎²⁾、田中 康司²⁾、松本 剛昌³⁾
 倉敷成人病センター 放射線科¹⁾、倉敷成人病センター 内科²⁾、倉敷成人病センター 外科³⁾

口 演 5月26日

O-34 Enterocolic phlebitis の二例

小山 雅司、石井 美砂子、渡辺 賢一
岡崎市民病院 放射線科

O-35 興味ある進展形式を示した perivascular fibrosis の1例

四元 さちえ¹⁾、岡原 美香¹⁾、上田 真也¹⁾、中川 晴雄²⁾、秋月 真一郎³⁾、山田 康成⁴⁾、
松本 俊郎⁴⁾、森 宣⁴⁾
国家公務員共済組合連合会 新別府病院 放射線科¹⁾、国家公務員共済組合連合会 新別府病院
消化器内科²⁾、国家公務員共済組合連合会 新別府病院 臨床検査科³⁾、
大分大学医学部 腫瘍病態制御講座 放射線医学⁴⁾

16:30~17:20 サテライトセミナー (株)フィリップス エレクトロニクス ジャパン メディカル システムズ
座 長 村上卓道先生(近畿大学医学部 放射線医学教室)

講演1 『腹部・骨盤領域における DWIBS 法と FDG-PET との比較』

落合礼次先生(医療法人天神会 古賀病院 21 放射線科)

講演2 『肝MRI—造影検査の新技法を交えて—』

兼松雅之先生(岐阜大学医学部附属病院 放射線部)

17:30~18:15 ポスターディスカッションセッション

9:00~9:30 肝臓基調講演

座 長 角谷 眞澄先生(信州大学医学部 画像医学)

「マクロを中心とした肝癌の進展様式」

坂元 亨宇先生(慶應義塾大学 病理学教室)

9:30~10:18 セッション7. 肝臓1(6題)

座 長 角谷 眞澄(信州大学医学部 画像医学)
コメンテーター 坂元 亨宇(慶應義塾大学 病理学教室)

O-36 画像所見から局在診断に苦慮した肝細胞癌の1例

古賀 誠¹⁾、橋本 学¹⁾、安田 格¹⁾、西井 俊晶¹⁾、石山 公一¹⁾、渡会 二郎¹⁾、草野 智之²⁾、
飯田 正毅²⁾、山本 雄造²⁾
秋田大学 医学部 附属病院 放射線科¹⁾、秋田大学 医学部 附属病院 肝胆膵外科²⁾

O-37 肝血管筋脂肪腫との鑑別が画像上難しかった中分化型肝細胞癌の1例

山田 有則¹⁾、高橋 康二¹⁾、長沢 研一¹⁾、稲岡 努¹⁾、平沼 初音¹⁾、佐藤 宏朗¹⁾、油野 民雄¹⁾、
大竹 孝明²⁾、鈴木 康秋²⁾、三好 茂樹²⁾、三代川 齊之³⁾、徳佐 良彦³⁾
旭川医科大学放射線科¹⁾、旭川医科大学第3内科²⁾、旭川医科大学病理部³⁾

O-38 診断に苦慮した肝腫瘍性病変の1例

駒田 智大¹⁾、伊藤 茂樹²⁾、森 芳峰¹⁾、太田 豊裕¹⁾、石垣 武男¹⁾、野本 周嗣³⁾
名古屋大学 医学部 放射線科¹⁾、名古屋大学 医学部 保健学科²⁾、
名古屋大学 医学部 消化器外科²⁾

O-39 転移性肝腫瘍に近接してみられた限局性過形成の1例

高野 徹、加村 毅、浦川 佳美、高木 聡、山本 哲史、笹井 啓資
新潟大学 医歯学総合病院 放射線科

O-40 細胆管細胞癌の初期像と考えられた点状早期濃染像の一例

山本 琢水¹⁾、本杉 宇太郎¹⁾、中島 寛人¹⁾、荒木 力¹⁾、松田 政徳²⁾、藤井 秀樹²⁾、中澤 匡男³⁾
山梨大学 医学部 放射線科¹⁾、山梨大学 医学部 第1外科²⁾、
山梨大学 医学部 病態病理診断学講座³⁾

O-41 成人発症した肝未分化肉腫の1例

中山 善晴¹⁾、田村 吉高¹⁾、楠 真一郎¹⁾、山下 康行¹⁾、別府 透²⁾、馬場 秀夫²⁾、
本田 由美³⁾、猪山 賢一³⁾
熊本大学 医学部 放射線科¹⁾、熊本大学 医学部 消化器外科²⁾、熊本大学附属病院 病理部³⁾

10:18~10:30 コーヒーブレイク

10:30~11:10 セッション8. 肝臓2(5題)

座 長 兼松 雅之(岐阜大学 放射線部)
コメンテーター 坂元 亨宇(慶應義塾大学 病理学教室)

O-42 Adrenohepatic fusion に合併した副腎皮質腺腫の1例

阿保 齊¹⁾、北尾 梓¹⁾、日野 祐資¹⁾、出町 洋¹⁾、河原 利夫²⁾、荻野 英朗²⁾、寺田 逸郎³⁾、
清水 康一³⁾、小西 孝司³⁾、内山 明央⁴⁾、三輪 淳夫⁴⁾
富山県立中央病院 放射線科¹⁾、富山県立中央病院 内科²⁾、富山県立中央病院 外科³⁾、
富山県立中央病院 臨床病理科⁴⁾

O-43 移植肝に発生したリンパ腫の1例

栢植 裕介¹⁾、兼松 雅之²⁾、五島 聡¹⁾、近藤 浩史¹⁾、前田 すなほ¹⁾、林 真也¹⁾
岐阜大学 医学部付属病院 放射線科¹⁾、岐阜大学 医学部付属病院 放射線部²⁾

O-44 類上皮血管内皮腫の一例

佐藤 卓也¹⁾、河野 良寛¹⁾、森田 弘江¹⁾、中川 富夫¹⁾、稲垣 優²⁾、園部 宏³⁾、金澤 右⁴⁾
福山医療センター 放射線科¹⁾、福山医療センター 外科²⁾、福山医療センター 研究検査科³⁾、
岡山大学大学院医歯薬総合研究科 放射線医学⁴⁾

O-45 肝血管筋脂肪腫の一例

加藤 弘毅、水沼 仁孝、菅原 俊祐、利安 隆史
大田原赤十字病院 放射線科

O-46 肝腫瘍を合併した Alagille 症候群の一例

大瀧 誠¹⁾、清水 健治¹⁾、山下 詠子¹⁾、白石 光一²⁾
東海大学付属八王子病院 放射線科¹⁾、東海大学付属八王子病院 内科²⁾

11:10~11:58 セッション9. 肝臓3・脾臓(6題)

座 長 南 学(筑波大学 臨床医学系放射線医学)
コメンテーター 坂元 亨宇(慶應義塾大学 病理学教室)

O-47 MRI で内部に脂肪成分を認めた肝単包虫症の一例

高橋 亜希¹⁾、廣橋 伸治²⁾、丸上 永晃²⁾、甲川 佳代子¹⁾、吉村 佳子¹⁾、吉川 正英³⁾、吉川 公彦¹⁾
済生会中和病院 放射線科¹⁾、奈良県立医科大学 放射線科²⁾、奈良県立医科大学 寄生虫学教室³⁾

O-48 画像検査にて経時的变化を追えた肝蛭(かんてつ)症の1例

加藤 さくら¹⁾、才 道昭¹⁾、松本 俊郎¹⁾、山田 康成¹⁾、森 宣¹⁾、柴田 浩平²⁾、太田 正之²⁾、
北野 正剛²⁾、姫野 克郎³⁾、清家 正隆³⁾、藤岡 利生³⁾
大分大学 医学部 腫瘍病態制御講座 放射線医学¹⁾、大分大学 医学部 腫瘍病態制御講座
肝胆膵外科²⁾、大分大学 医学部 消化器内科³⁾

O-49 多発肝病変を呈した hypereosinophilic syndrome の1例

片桐 亜矢子¹⁾、宇野 幸子¹⁾、油野 裕之¹⁾、井上 一彦¹⁾、清水 博志¹⁾、山田 真也²⁾、島崎 英樹²⁾、
片柳 和義³⁾、車谷 宏³⁾
石川県立中央病院 放射線科¹⁾、石川県立中央病院 一般・消化器内科²⁾、石川県立中央病院 病理科³⁾

O-50 Sclerosing Angiomatoid Nodular Transformation (SANT) とされた脾腫瘍の一例

船津 広之¹⁾、森 幹人²⁾、伊丹 真紀子³⁾、高野 英行¹⁾
千葉県がんセンター 画像診断部¹⁾、千葉県がんセンター 消化器外科²⁾、
千葉県がんセンター 臨床病理部³⁾

O-51 脾臓・肝臓の血管上皮腫と考えられた一例

前谷 洋爾¹⁾、磯田 裕義¹⁾、有菌 茂樹¹⁾、富樫 かおり¹⁾、瀧原 康行²⁾、錦織 桃子³⁾、桜井 孝規⁴⁾
京都大学 医学部 画像診断・核医学科¹⁾、京都大学 医学部 消化器外科²⁾、
京都大学 医学部 血液内科³⁾、京都大学 医学部 病理部⁴⁾

O-52 腹腔動脈解離を認めた脾動脈瘤破裂の1例

田澤 聡¹⁾、前山 俊秀²⁾、高田 秀司²⁾、山口 正明³⁾
公立刈田総合病院 放射線科¹⁾、公立刈田総合病院 外科²⁾、公立刈田総合病院 病理³⁾

12:10~13:00 ランチオンセミナー2 シーメンス旭メディテック(株)

座 長 杉村和朗先生(神戸大学大学院医学系研究科 放射線医学分野)

『上腹部MRIにおける3Tの有用性』

磯田裕義先生(京都大学医学部附属病院 放射線部)

13:00~13:20 事務局連絡

13:20~13:40 コーヒーブレイク

13:40~14:10 膵臓基調講演

座 長 吉満 研吾先生(九州大学医学学部 放射線科学教室)

『膵嚢胞性病変の組織像』

諸星 利男先生(昭和大学医学部 第一病理学教室)

14:10~15:06 セッション10. 膵臓1(7題)

座 長 吉満 研吾(九州大学医学学部 放射線科学教室)

コメンテーター 諸星 利男(昭和大学医学部 第一病理学教室)

O-53 膵全体を占める分枝型膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMT) の一症例

岡島 由佳¹⁾、渡辺 文彦¹⁾、不破 相勲¹⁾、穂鷹 雄介¹⁾、田村 綾子¹⁾、角田 博子¹⁾、
藤原 美恵子²⁾、鈴木 高祐²⁾、藤田 善幸³⁾、齋田 幸久¹⁾

聖路加国際病院 放射線科¹⁾、聖路加国際病院 病理診断科²⁾、聖路加国際病院 内科³⁾

O-54 胆管への瘻孔の部位を CT で同定しえた IPMT の一例

浦川 佳美¹⁾、加村 毅¹⁾、高野 徹¹⁾、笹井 啓資¹⁾、佐藤 絢子²⁾、東海林 俊之²⁾、
松田 康伸²⁾、成澤 林太郎²⁾、青柳 豊²⁾、白井 良夫³⁾

新潟大学医歯学総合病院 放射線科¹⁾、新潟大学医歯学総合病院 第三内科²⁾、
新潟大学医歯学総合病院 第一外科³⁾

O-55 診断に苦慮した微小浸潤を伴う intraductal papillary mucinous carcinoma の1例

小川 浩¹⁾、伊藤 茂樹²⁾、館 靖¹⁾、鈴木 耕次郎¹⁾、石垣 武男¹⁾、野本 周嗣³⁾

名古屋大学医学部放射線科¹⁾、名古屋大学医学部保健学科²⁾、名古屋大学医学部消化器外科²⁾

O-56 術前診断が困難であった若年女性の膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMT) 由来浸潤癌の1例

有川 俊二¹⁾、内田 政史¹⁾、品川 正治¹⁾、魚住 淳¹⁾、早瀬 尚文¹⁾、岡部 義信²⁾、
菅 偉哉²⁾、木下 壽文³⁾、内藤 嘉紀⁴⁾

久留米大学 医学部 放射線科¹⁾、久留米大学 医学部 第二内科²⁾、久留米大学 医学部 外科³⁾、
久留米大学 医学部 病理⁴⁾

O-57 嚢胞性の膵内分泌腫瘍の1例

梶原 朋子¹⁾、津田 孝治¹⁾、熊野 正士¹⁾、平田 雅昭¹⁾、望月 輝一¹⁾、福原 稔之²⁾、本田 和男²⁾、
小林 展章²⁾、横田 智行³⁾、恩地 森一³⁾

愛媛大学 医学部 放射線科¹⁾、愛媛大学 医学部 第一外科²⁾、愛媛大学 第三内科³⁾

O-58 多発膵インスリノーマの検討

五島 聡¹⁾、兼松 雅之²⁾、近藤 浩史¹⁾、柘植 裕介¹⁾

岐阜大学 医学部付属病院 放射線科¹⁾、岐阜大学 医学部付属病院 放射線部²⁾

O-59 主膵管に異常を来した膵内分泌腫瘍の2例

藤光 律子¹⁾、岡崎 正敏¹⁾、池田 靖洋²⁾、笠 晋一郎²⁾、乗富 智明³⁾、山下 裕一³⁾、
中山 吉福⁴⁾

福岡大学 放射線医学教室¹⁾、第1外科教室²⁾、第2外科教室³⁾、病理学教室⁴⁾

15:06~15:20 コーヒーブレイク

15:20~16:16 セッション11. 膵臓2・胆道(7題)

座 長 蒲田 敏文(金沢大学 放射線医学教室)
コメンテーター 諸星 利男(昭和大学 第一病理学教室)

O-60 膵悪性リンパ腫の1例

山元 龍哉¹⁾、杉本 英治¹⁾、玉田 喜一²⁾、菅野 健太郎²⁾、佐田 尚宏³⁾、永井 秀雄³⁾、高屋敷 典生⁴⁾
自治医科大学 放射線科¹⁾、自治医科大学 消化器内科²⁾、自治医科大学 消化器外科³⁾、
自治医科大学 病理学講座⁴⁾

O-61 PET/CTでFDGの集積を認めた自己免疫性膵炎の一例

原田 文、門澤 秀一、田中 擴址、西崎 朗、伊崎 健太、渡邊 裕一、北村 ゆり、濱中 章洋、
足立 秀治
兵庫県立成人病センター 放射線科

O-62 IPMT様の発育形態を示した肝内胆管癌の一例

井上 大¹⁾、小林 佳子¹⁾、荒川 文敬¹⁾、黒川 勝²⁾、酒井 麻夫³⁾、前田 宜延⁴⁾
富山赤十字病院 放射線科¹⁾、富山赤十字病院 外科²⁾、富山赤十字病院 内科³⁾、
富山赤十字病院 病理⁴⁾

O-63 乳頭型胆管癌の1例

牛島 泰宏¹⁾、吉満 研吾¹⁾、入江 裕之¹⁾、田嶋 強¹⁾、浅山 良樹¹⁾、平川 雅和¹⁾、石神 康生¹⁾、
柿原 大輔¹⁾、本田 浩¹⁾、山口 幸二²⁾、西原 雄之介³⁾
九州大学大学院医学研究院 臨床放射線科¹⁾、同 1 外科²⁾、同 病理³⁾

O-64 肝内転移時に肉腫様変化を伴った肝門部胆管癌の1例

田村 吉高¹⁾、中山 善晴¹⁾、山下 康行¹⁾、近本 亮²⁾、馬場 秀夫²⁾
熊本大学 医学部 放射線診断科¹⁾、熊本大学 医学部 消化器外科²⁾

O-65 Adenomyoma of the common bile ductの1例

亀井 律孝¹⁾、本郷 哲央¹⁾、山田 康成¹⁾、松本 俊郎¹⁾、森 宣¹⁾、柴田 浩平²⁾、太田 正之²⁾、
北野 正剛²⁾、松浦 恵子³⁾、守山 正胤³⁾
大分大学 医学部 腫瘍病態制御講座 放射線医学¹⁾、大分大学 医学部 腫瘍病態制御講座
肝胆膵外科²⁾、大分大学 医学部 腫瘍病態制御講座 病理学第二³⁾

O-66 黄色肉芽腫性胆嚢炎に、肝炎症性偽腫瘍が合併していた一例

矢吹 隆行¹⁾、細川 敦之¹⁾、石井 裕朗¹⁾、加地 充昌¹⁾、宮谷 克也²⁾
三豊総合病院 放射線科¹⁾、三豊総合病院 病理²⁾

16:20

閉会の辞 当番世話人 今井 裕(東海大学医学部 基盤診療学系 画像診断学)

肝臓

P-1 著明な脂肪化を示した肝細胞癌の一例

渡辺 佳明、松浦 克彦、高田 晃、丹野 啓介、田島 直、西城 誠、渡辺 ありさ、田中 修
自治医科大学附属大宮医療センター放射線科

P-2 Kasabach-Merritt 症候群を合併した肝血管腫症の 2 例

前田 恵理子¹⁾、赤羽 正章¹⁾、渡谷 岳行¹⁾、佐藤 次郎¹⁾、國末 奈津子¹⁾、魚住 和史¹⁾、吉岡 直紀¹⁾、
稲生 信一¹⁾、加藤 伸之¹⁾、山田 晴耕¹⁾、古賀 久雄¹⁾、森 壱¹⁾、後藤 明輝²⁾、大友 邦¹⁾
東京大学 医学部 放射線科¹⁾、東京大学 医学部 人体病理学²⁾

P-3 胆管内に広範に乳頭状発育を呈した胆管嚢胞腺癌の一例

河輪 陽子¹⁾、五味 達哉¹⁾、長基 雅司¹⁾、寺田 一志¹⁾、甲田 英一¹⁾、田中 英則²⁾、渡邊 学²⁾、
大原関 利章³⁾、高橋 啓³⁾
東邦大学 医療センター 大橋病院 放射線科¹⁾、東邦大学 医療センター 大橋病院 外科²⁾、
東邦大学 医療センター 大橋病院 病院病理³⁾

P-4 大腸癌の門脈転移の 1 例

前谷 洋爾¹⁾、磯田 裕義²⁾、有蘭 茂樹¹⁾、富樫 かおり¹⁾、土井 隆一郎²⁾、真鍋 俊明³⁾
京都大学 医学部 画像診断・核医学科¹⁾、京都大学 医学部 腫瘍外科²⁾、
京都大学 医学部 病理部³⁾

P-5 急性肝炎との鑑別に苦慮した大腸癌びまん性肝転移の一例

大森 智子¹⁾、瀧川 政和¹⁾、北野 雅史¹⁾、三富 弘之²⁾、金澤 秀紀³⁾、佐々木 真弓⁴⁾、磯部 義憲⁴⁾、
早川 和重⁵⁾
独立行政法人 国立病院機構 相模原病院 放射線科¹⁾、独立行政法人 国立病院機構 相模原病院病理²⁾、
独立行政法人 国立病院機構 相模原病院 外科³⁾、北里大学東病院 放射線科⁴⁾、
北里大学 医学部 放射線科⁵⁾

P-6 原発性肝アミロイドーシスの一例

新城 秀典、信澤 宏、橋爪 崇、清野 哲孝、篠塚 明、後閑 武彦
昭和大学医学部放射線医学教室

P-7 MCTD に合併した肝過形成結節の 1 例

佐野 勝廣¹⁾、本杉 宇太郎¹⁾、荒木 力¹⁾、加藤 良平²⁾
山梨大学 医学部 放射線科¹⁾、山梨大学 医学部 第 2 病理学教室²⁾

P-8 肝血管肉腫の一例

松崎 健司¹⁾、竹内 麻由美¹⁾、西谷 弘¹⁾、居村 暁²⁾、島田 光生²⁾、大西 隆仁³⁾
徳島大学 医学部 放射線科¹⁾、徳島大学 医学部 臓器病態外科²⁾、
徳島大学 医学部 環境病理³⁾

P-9 自己免疫性肝炎の一例

後藤 芳江¹⁾、竹田 利明¹⁾、竹政 和彦¹⁾、羽藤 倫子¹⁾、小黒 草太¹⁾、津沢 薫²⁾、小山 茂²⁾
東京都立広尾病院 診療放射線科¹⁾、東京都立広尾病院 消化器内科²⁾

P-10 多発石灰化腫瘍を示した肝臓の類上皮血管内皮腫の 1 例

後藤 典子¹⁾、野田 正信¹⁾、杉山 彩子¹⁾、赤井 宏行¹⁾、白水 一郎¹⁾、町田 徹¹⁾、柴田 実²⁾、
伊東 友弘²⁾、山本 雅一³⁾、有泉 俊一³⁾、中野 雅行⁴⁾
NTT 東日本 関東病院 放射線部¹⁾、NTT 東日本 関東病院 消化器内科²⁾、
東京女子医科大学 消化器外科³⁾、国立病院機構 千葉医療センター 病理⁴⁾

展 示

P-11 胃粘膜下腫瘍として発見された肝過形成性結節の一例

岡田 博司¹⁾、廣橋 伸治²⁾、丸上 永晃²⁾、伊藤 高広²⁾、田中 利洋²⁾、阪口 浩²⁾、吉川 公彦²⁾
清恵会病院 放射線科¹⁾、奈良県立医科大学 放射線科²⁾

P-12 膵腺房細胞癌の1例

橋本 学¹⁾、西井 俊晶¹⁾、安田 格¹⁾、石山 公一¹⁾、渡会 二郎¹⁾、草野 智之²⁾、南條 博³⁾
秋田大学 医学部付属病院 放射線科¹⁾、秋田大学医学部消化器外科²⁾、秋田大学医学部病理³⁾

膵臓・胆道

P-13 肝内胆管内乳頭状粘液産生腫瘍の1例

中田 一恵¹⁾、服部 由紀¹⁾、蒲田 敏文¹⁾、松井 修¹⁾、太田 信次²⁾、中村 康孝²⁾、全 陽³⁾、
中沼 安二³⁾
金沢大学大学院経血管診療学¹⁾、中村病院 外科²⁾、金沢大学大学院 機能病態病理学³⁾

P-14 閉塞性腸炎で発症した胆嚢癌の一例

海東 恵子¹⁾、米田 憲秀¹⁾、尾崎 公美¹⁾、竹田 太郎¹⁾、龍 泰司¹⁾、山城 正司¹⁾、宮山 士朗¹⁾、
宗本 義則²⁾、須藤 嘉子³⁾
福井県済生会病院 放射線科¹⁾、福井県済生会病院 外科²⁾、福井県済生会病院 病理部³⁾

P-15 粘膜下腫瘍と鑑別が困難であった胆嚢癌の1例

佐野 美香、塚本 達明、荒木 力
山梨大学 医学部 放射線科

P-16 胆嚢扁平上皮癌の1例

山本 泰宏¹⁾、水野 憲治²⁾、公文 龍也²⁾、橋本 雅明²⁾、八木 孝仁³⁾
福山第一病院 放射線科¹⁾、福山第一病院 外科²⁾、
岡山大学大学院 医歯学総合研究科 消化器・腫瘍外科³⁾

P-17 乳頭部癌を合併した先天性胆道拡張症(戸谷分類3型)の一例

西原 礼介¹⁾、浦島 正喜¹⁾、松浦 明子¹⁾、中村 優子¹⁾、富田 洋平¹⁾、檜本 和樹¹⁾、影本 正之¹⁾、
植木 亨²⁾、梶川 直子²⁾、高倉 範尚³⁾、青木 秀樹³⁾、見前 隆洋³⁾、
松浦 博夫⁴⁾、高田 晋一⁴⁾
広島市立広島市民病院 放射線科¹⁾、広島市立広島市民病院 内科²⁾、
広島市立広島市民病院 外科³⁾、広島市立広島市民病院 病理部⁴⁾

P-18 胆管周囲神経より発生した Malignant peripheral nerve sheath tumor (MPNST) の一例

黒川 浩典¹⁾、河原 道子¹⁾、藤島 護¹⁾、渡邊 剛正²⁾、高田 理恵³⁾
津山中央病院 放射線科¹⁾、津山中央病院 外科²⁾、津山中央病院 病理³⁾

膵臓

P-19 腫瘍が分散していたため術前画像診断が困難であった膵頭部高分化管状腺癌の1例

野島 浩司¹⁾、水野 英一¹⁾、角田 清志¹⁾、太田 英樹²⁾、清原 薫³⁾、寺畑 信太郎⁴⁾
市立砺波総合病院 放射線科¹⁾、市立砺波総合病院 消化器科²⁾、市立砺波総合病院 外科³⁾、
市立砺波総合病院 病理科⁴⁾

P-20 退形成性膵管癌(破骨細胞型巨細胞癌)の2例

森澤 信子^{1,2)}、後藤 公男¹⁾、黒田 昌志¹⁾、藤原 一央¹⁾、伊藤 剛¹⁾
京都医療センター 放射線科¹⁾、京都大学大学院医学研究科 核医学・画像診断学講座²⁾

P-21 若年女性に発生した退形成性膵管癌の一例

市川 珠紀¹⁾、山下 智裕¹⁾、長島 玲奈¹⁾、今井 裕¹⁾、矢崎直樹²⁾、今泉 俊秀²⁾、平林 健一³⁾、
柴久喜 れいし³⁾
東海大学医学部 画像診断科¹⁾、東海大学医学部 消化器外科²⁾、
東海大学医学部 病理診断科³⁾、

P-22 診断に苦慮した膵 solid-pseudopapillary tumor の一例

神山 和俊¹⁾、吉儀 淳¹⁾、岡田 成人¹⁾、吉廻 毅¹⁾、北垣 一¹⁾、丸山 理留敬²⁾、石川 典由³⁾、
島根大学 医学部 放射線科¹⁾、島根大学 医学部 病理部²⁾、島根大学 医学部 検査部³⁾

P-23 境界悪性 IPMN の 1 例

小林 和夏¹⁾、杉浦 充²⁾、横山 仁¹⁾、佐野 公昭¹⁾、永坂 敦¹⁾、西川 秀司¹⁾、樋口 晶文¹⁾、
小川 弥生³⁾
市立札幌病院 消化器科¹⁾、市立札幌病院 画像診療科²⁾、市立札幌病院 病理部³⁾

P-24 9 年間の経過を観察しえた膵頭部 serous cystadenoma の 1 例

吉田 耕太郎^{1,2)}、米田 憲秀¹⁾、中田 一恵¹⁾、米田 憲二¹⁾、山本 亨¹⁾、吉川 淳¹⁾、林 裕之³⁾、
海崎 泰治⁴⁾
福井県立病院 放射線科¹⁾、金沢大学大学院 医学系研究科 経血管診療学²⁾、
福井県立病院 外科³⁾、福井県立病院 臨床病理⁴⁾

P-25 十二指腸出血を来した腎細胞癌術後膵転移の 1 例

中井 豪、松木 充、稲田 悠紀、立神 史穂、谷掛 雅人、植林 勇
大阪医科大学 放射線科

P-26 Angio-CT が診断に有用であった膵内分泌系腫瘍の一例

岩田 美郎¹⁾、斎藤 緑¹⁾、大谷 泰雄²⁾、中崎 久雄²⁾、佐藤 慎吉³⁾、山下 智裕⁴⁾、今井 裕⁴⁾
東海大学医学部附属大磯病院 放射線科¹⁾、東海大学医学部附属大磯病院 外科²⁾、
東海大学医学部附属大磯病院 病理³⁾、東海大学医学部 画像診断科⁴⁾

P-27 膵漿液性嚢胞腺腫との鑑別に苦慮した神経内分泌腫瘍の一例

扇 尚弘¹⁾、香田 渉¹⁾、蒲田 敏文¹⁾、松井 修¹⁾、北川 裕久²⁾、太田 哲生²⁾、湊 宏³⁾
金沢大学大学院医学系研究科 経血管診療学¹⁾、金沢大学医学部附属病院 消化器外科²⁾、
金沢大学医学部附属病院 病理³⁾

P-28 慢性顎下腺炎を合併した自己免疫性膵炎の 1 例

藤本 晃司¹⁾、山田 篤史¹⁾、木下 一之¹⁾、根来 慶春¹⁾、北村 暢康¹⁾、左合 直¹⁾、小西 章太²⁾
福井赤十字病院 放射線科¹⁾、福井県済生会病院 放射線科²⁾

消化管・腸間膜・腹腔

P-29 胃粘膜下腫瘍で発見された食道原発平滑筋腫の 1 例

田辺 昌寛、伊東 克能、林田 稔、清水 文め、藤田 岳史、松永 尚文
山口大学 医学部 放射線科

P-30 顕著な腹膜播種と全身骨転移で発見され原発巣特定が困難であった胃印環細胞癌の 1 例

大須賀 香絵¹⁾、杉野 吉則³⁾、戸矢 和仁¹⁾、笠松 智孝¹⁾、金子 博²⁾、関根 理恵子²⁾、
倉持 茂⁴⁾、廣瀬 茂道⁴⁾
東京医療センター 放射線科¹⁾、東京医療センター 消化器科²⁾、慶應義塾大学 医学部 放射線診断科³⁾、
東京医療センター 研究検査科⁴⁾

P-31 胃カルチノイドを契機に発見された多発性内分泌腺腫の1例

杉村 宏¹⁾、村中 貴浩¹⁾、落合 竜三¹⁾、土居 浩一²⁾、大地 哲史²⁾、山本 章二郎³⁾、岩切 久芳³⁾、石原 明⁴⁾

宮崎県立延岡病院 放射線科¹⁾、宮崎県立延岡病院 外科²⁾、宮崎県立延岡病院 内科³⁾、
宮崎県立延岡病院 臨床検査科病理⁴⁾

P-32 KIT 陰性であった胃 GIST の一例

小林 茂¹⁾、山元 龍哉¹⁾、金井 信行²⁾、杉本 英治¹⁾
自治医科大学 放射線科¹⁾、自治医科大学 病理診断部²⁾

P-33 十二指腸に2箇所発生した GIST の1例

立神 史稔¹⁾、松木 充¹⁾、稲田 悠紀¹⁾、中井 豪¹⁾、谷掛 雅人¹⁾、植林 勇¹⁾、井上 仁²⁾、
林 道廣²⁾、谷川 允彦²⁾、辻 求³⁾、江頭 由太郎⁴⁾、芝山 雄老⁴⁾
大阪医科大学 放射線医学教室¹⁾、大阪医科大学 一般・消化器外科教室²⁾、大阪医科大学 病院病理部³⁾、
大阪医科大学 第一病理学教室⁴⁾

P-34 メッケル憩室由来と考えられた GIST の一例

田中 絵里子¹⁾、馬場 麻衣子¹⁾、薄井 庸孝¹⁾、稲葉 基之¹⁾、鈴木 美奈子¹⁾、藤澤 英文¹⁾、
浮洲 龍太郎¹⁾、武中 泰樹¹⁾、倉下 雄¹⁾、本谷 廣英¹⁾、松尾 廣之¹⁾、櫛橋 民生¹⁾、橋本 雅彦²⁾、
石田 文生²⁾、工藤 進英²⁾、浜谷 茂治³⁾、斎藤 光次³⁾、塩川 章³⁾
昭和大学横浜市北部病院 放射線科¹⁾、昭和大学横浜市北部病院 消化器センター²⁾、
昭和大学横浜市北部病院 病理科³⁾

P-35 von Recklinghausen 病に発現した空腸の多発性 Gastrointestinal Stromal Tumor (GIST)

広村 忠雄¹⁾、佐藤 昌明²⁾、水無瀬 昂²⁾
NTT 東日本 札幌病院 放射線科¹⁾、NTT 東日本 札幌病院 臨床検査科²⁾

P-36 急性膵炎にて発症し、腫瘍形成性膵炎と鑑別を要した十二指腸悪性リンパ腫の一例

嶋田 功太郎¹⁾、魚川 享資¹⁾、飴谷 文恵¹⁾、堀井 直敏¹⁾、藤澤 一郎¹⁾、森 友彦²⁾、小切 匡史²⁾、
上田 泰輔³⁾、梶村 幸三³⁾、門田 永治⁴⁾
市立岸和田市民病院 放射線科¹⁾、市立岸和田市民病院 外科²⁾、市立岸和田市民病院 消化器内科³⁾、
市立岸和田市民病院 病理診断科⁴⁾

P-37 virtual endoscopy が有用であった空腸膜様狭窄の1例

杉崎 圭子、後藤 裕夫、星 博昭
岐阜大学 医学部 放射線科

P-38 回盲部腸管膜血腫の1例

杉浦 充¹⁾、久保 公三¹⁾、宇佐美 陽子¹⁾、宮崎 知保子¹⁾、高田 明生²⁾
市立札幌病院 画像診療科¹⁾、市立札幌病院 病理部²⁾

P-39 Ga シンチにて集積を示した大網中皮腫の1例

竹内 希¹⁾、奥村 伸治²⁾、中井 資貴³⁾、佐藤 守男⁴⁾、中林 洋⁵⁾
耳原総合病院 放射線科¹⁾、耳原総合病院 胸部外科²⁾、日高総合病院 放射線科³⁾、
和歌山県立医大 放射線科⁴⁾、耳原総合病院 病理科⁵⁾

P-40 腹部結核の4例

東原 大樹、金 東石、堀 雅敏、大西 裕満、桑原 雅知、坪山 尚寛、前田 登、三上 恒治、
大須賀 慶悟、友田 要、中村 仁信
大阪大学 放射線統合医学講座 放射線医学講座

P-41 S 状結腸憩室穿孔を引き起こした被覆性硬化性腹膜炎の一例

三船 啓文¹⁾、松本 佳則²⁾、橋本 昌美²⁾、宇田 征史³⁾
尾道市立市民病院 放射線科¹⁾、尾道市立市民病院 内科²⁾、尾道市立市民病院 外科³⁾

P-42 拡散強調画像により骨盤腔腫瘍を血栓閉鎖した動脈瘤から鑑別して病理診断を得た 1 例

清水 健治¹⁾、大瀧 誠¹⁾、中村 知己²⁾、向井 正哉²⁾、小泉 淳³⁾、今井 裕³⁾
 東海大学 医学部付属 八王子病院 放射線科¹⁾、東海大学 医学部付属 八王子病院 一般外科²⁾、
 東海大学 医学部 基盤診療学系 画像診断学³⁾

腎臓**P-43 腎細胞癌症例に対し摘出直後標本を MRI にて撮影した 2 例**

佐久間 光太郎¹⁾、斉藤 久美¹⁾、安藤 智則¹⁾、緑川 重夫¹⁾、森谷 浩史¹⁾、内海 康文²⁾、
 加宅田 和彦³⁾、横山 純³⁾、宍戸 文男⁴⁾
 財団法人大原総合病院 放射線科¹⁾、財団法人大原総合病院 病理部²⁾、
 財団法人大原総合病院 泌尿器科³⁾、福島県立医科大学 医学部 放射線医学講座⁴⁾

P-44 腎臓に発生した悪性線維性組織球腫(MFH)の一例

高田 章¹⁾、岡江 俊治¹⁾、神沢 英幸²⁾、岡村 武彦²⁾、早川 清順³⁾
 安城更生病院 放射線科¹⁾、安城更生病院 泌尿器科²⁾、安城更生病院 病理科³⁾

P-45 自己免疫性膵炎に多発腎腫瘍を合併したと考えられる 1 例

佐藤 修¹⁾、野崎 太希¹⁾、興津 茂行¹⁾、川端 健二²⁾、佐貫 毅³⁾
 明石市立市民病院 放射線科¹⁾、明石市立市民病院 臨床検査科²⁾、明石市立市民病院 消化器科³⁾

泌尿器**P-46 膀胱絨毛癌の 1 例**

稲田 悠紀¹⁾、松木 充¹⁾、中井 豪¹⁾、立神 史稔¹⁾、谷掛 雅人¹⁾、檜林 勇¹⁾、辻 求²⁾
 大阪医科大学 放射線医学教室¹⁾、大阪医科大学 病院病理部²⁾

後腹膜**P-47 後腹膜神経節腫の一例**

小山 孝一、濱澤 良将、井上 佑一
 大阪市立大学 医学部 放射線科

P-48 膵管拡張をきたし、膵原発との鑑別困難であった後腹膜 MPNST の一例

戸上 泉¹⁾、長谷川 明¹⁾、守都 常晴¹⁾、安井 光太郎¹⁾、井上 信浩¹⁾、石田 道祐²⁾、三村 哲重²⁾、
 能勢 聡一郎³⁾、浜家 一雄³⁾
 岡山済生会総合病院 放射線科¹⁾、岡山済生会総合病院 外科²⁾、岡山済生会総合病院 病理³⁾

P-49 非典型所見を呈した褐色細胞腫の 1 例

中園 貴彦¹⁾、埜口 亮輔¹⁾、工藤 祥¹⁾、柿木 寛明²⁾、徳田 雄治²⁾、蒲地 紀之³⁾
 佐賀大学 医学部 放射線科¹⁾、佐賀大学 医学部 泌尿器科²⁾、佐賀大学 医学部 病理³⁾

子宮**P-50 PET 検診を契機に発見された子宮腺筋症由来と思われる類内膜癌の一例**

横須賀 典子¹⁾、滝澤 憲²⁾、藤原 潔²⁾、小澤 幸彦¹⁾
 医療法人社団ゆうあい会 ゆうあいクリニック 診断部 放射線科¹⁾、
 癌研究会 有明病院 婦人科²⁾

P-51 子宮頸部 adenosarcoma の一例

山下 詠子¹⁾、齋藤 緑¹⁾、塚田 ひとみ²⁾、東郷 敦子²⁾、村松 俊成²⁾、安田 政美³⁾、今井 裕¹⁾、
東海大学医学部 画像診断科¹⁾、東海大学医学部 産婦人科²⁾、東海大学医学部 病理診断科³⁾

卵巣

P-52 後腹膜腫瘍との鑑別に苦慮した巨大卵巣未分化胚細胞腫の一例

杉山 宗弘、小暮 稔、伊藤 憲佐、遠藤 英穂、大内 敏宏
亀田メディカルセンター 放射線科

P-53 卵管周囲に発生した脂肪肉腫の一例

牧野 謙二¹⁾、磯本 一郎¹⁾、上谷 雅孝¹⁾、森山 伸吾²⁾、宗 陽子²⁾、重松 和人³⁾
長崎大学 医学部・歯学部附属病院 放射線科¹⁾、長崎大学 医学部・歯学部附属病院 産婦人科²⁾、
長崎大学 医学部 病理学第二講座³⁾

その他

P-54 Hematopoiesis の1例

平塚 真生子¹⁾、東野 英利子²⁾、森 健作²⁾、植田 琢也²⁾、南 学²⁾
筑波大学附属病院 放射線科¹⁾、筑波大学臨床医学系 放射線医学²⁾

クイズ展示

- Q-1 山梨大学 放射線科¹⁾、山梨大学 第1外科²⁾
本杉 宇太郎¹⁾、中島 寛人¹⁾、荒木 力¹⁾、松田 政徳²⁾、藤井 秀樹²⁾
- Q-2 大田市立病院 放射線科¹⁾、大田市立病院 外科²⁾
小林 愛¹⁾、杉原 正樹¹⁾、繁本 憲文²⁾、坂下 吉弘²⁾
- Q-3 京都大学医学部 放射線医学教室¹⁾、京都大学医学部 病理学教室²⁾
梅岡 成章¹⁾、小山 貴¹⁾、玉井 賢¹⁾、富樫 かおり¹⁾、三上 芳喜²⁾
- Q-4 滋賀医科大学 医学部 放射線医学
外山 哲也、山崎 道夫、古川 顕、河野 直明、田中 豊彦、永谷 幸裕、
高桜 竜太郎、新田 哲久、高橋 雅士、村田 喜代史
- Q-5 北海道大学病院 放射線科
神島 保、宮坂 和男
- Q-6 公立甲賀病院 放射線科¹⁾、公立甲賀病院 外科²⁾、滋賀医科大学 放射線科³⁾
井本 勝治^{1,2,3)}、村上 陽子¹⁾、坂本 力¹⁾、寺村 康史²⁾、沖野 孝²⁾、
田中 豊彦³⁾、山崎 道夫³⁾、古川 顕³⁾、村田 喜代史³⁾
- Q-7 横浜市立大学 放射線科¹⁾、横浜市立大学附属病院 一般外科²⁾、
横浜市立大学附属病院 病理部³⁾
吉田 啓介¹⁾、萩原 浩明¹⁾、李 進¹⁾、井上 登美夫¹⁾、湯川 寛夫²⁾、
利野 靖²⁾、大城 久³⁾
- Q-8 岐阜大学大学院医学研究科 腫瘍制御学講座 放射線医学分野
近藤 浩史、五島 聡、柘植 祐介、兼松 雅之
- Q-9 神戸大学 医学部 放射線科¹⁾、神戸大学 医学部 産婦人科²⁾、
神戸大学 医学部 病理部³⁾
杉原 良¹⁾、楫 靖¹⁾、杉村 和朗¹⁾、吉田 茂樹²⁾、丸尾 猛²⁾、大林 千穂³⁾
- Q-10 天理よろづ相談所病院放射線部診断部門
岡田 卓也、前田 隆樹、榎林 正流、玉置 幸久、東野 貴徳、松本 真一、
野間 恵之、左野 明
- Q-11 自治医科大学附属大宮医療センター放射線科
渡辺 佳明、丹野 啓介、高田 晃、田島 直、西城 誠、渡辺 ありさ、
松浦 克彦、田中 修
- Q-12 国立がんセンター がん予防・検診研究センター¹⁾、
国立がんセンター中央病院 放射線診断部²⁾、
国立がんセンター中央病院 婦人科³⁾、国立がんセンター研究所 病理部⁴⁾
黒木 聖子¹⁾、前田 哲雄²⁾、澤田 守男³⁾、笹島 ゆう子⁴⁾、森山 紀之¹⁾

Q-13 熊本大学大学院 医学薬学研究部 放射線診断学教室
楠 真一郎、中山 善晴、山下 康行

Q-14 福井県立病院 放射線科
山本 亨、吉田 耕太郎、米田 憲二、吉川 淳

Q-15 信州大学 医学部 画像医学講座
山田 哲、上原 勝巳、古川 智子、長谷川 朋子、柳沢 新、渡辺 智治、
松下 剛、平瀬 雄一、黒住 昌弘、川上 聡、金子 智喜、藤永 康成、
百瀬 充浩、唐木田 修、上田 和彦、角谷 眞澄

[illegible]

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

— 協賛社一覧 —

株式会社 AZE

株式会社アドバンスト・メディア

大塚製薬株式会社

コニカミノルタエムジー株式会社

株式会社島津製作所

ザイオソフト株式会社 / アミン株式会社

シーメンス旭メディテック株式会社

GE 横河メディカルシステム株式会社

テクマトリックス株式会社

東芝メディカルシステムズ株式会社

日本シエーリング株式会社

株式会社根本杏林堂

株式会社日立メディコ

フィリップスメディカルシステムズ株式会社

富士フイルムメディカル西日本株式会社

株式会社メディコスヒラタ

腹部放射線研究会

The Japanese Society of Abdominal Radiology (JSAR)

代表幹事 松井 修 (金沢大)

副代表幹事 森 宣 (大分大)

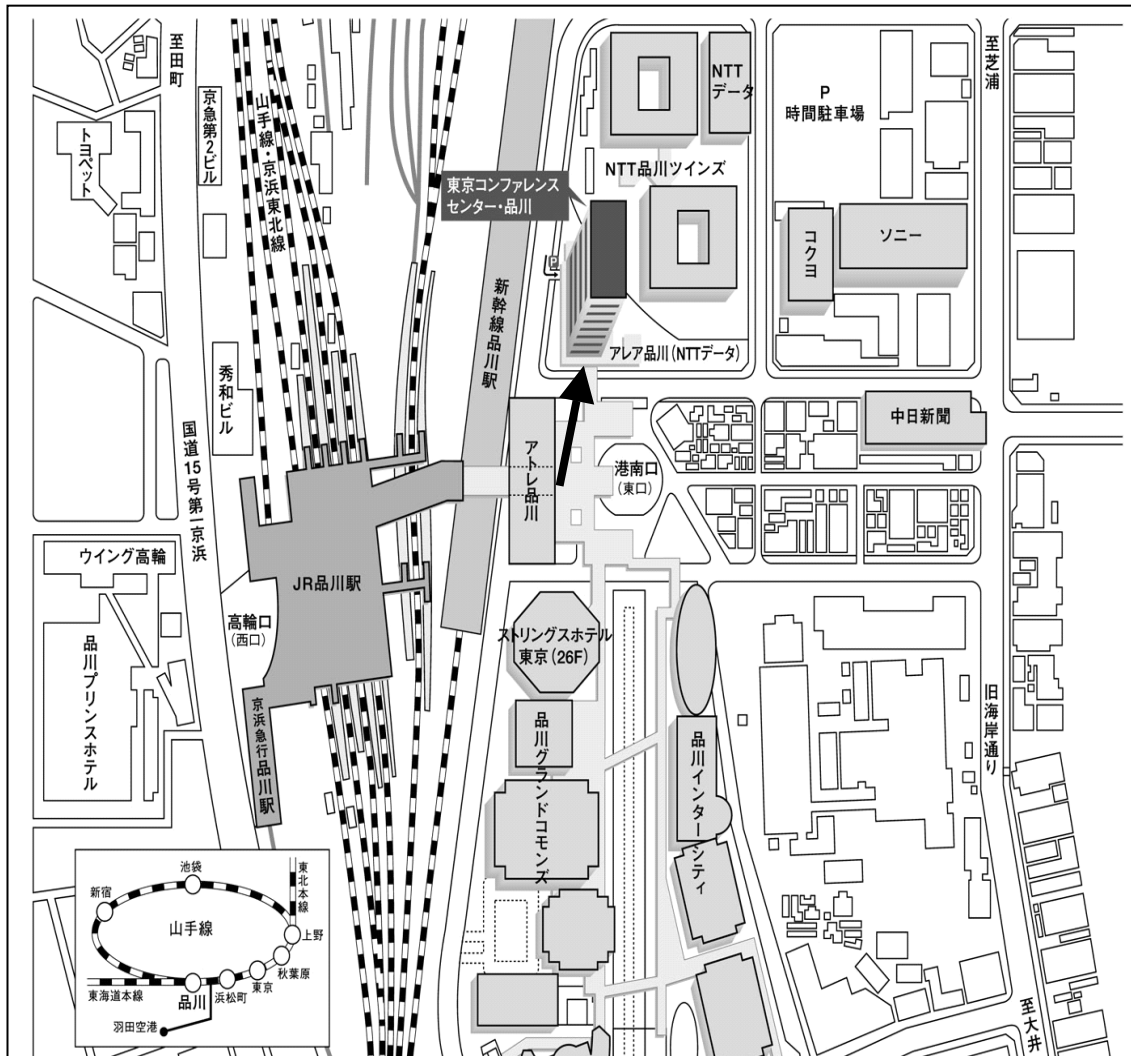
顧問 石川 徹 (高津中央ウ) 打田日出夫 (大雄会IVRセ)
中尾 宣夫 (兵庫医大) 平松 京一 (水町MR)
平松 慶博 (榊原記念病院) 宗近 宏次 (昭和 大)

幹事 荒木 力 (山梨大) 大友 邦 (東京大)
角谷 眞澄 (信州大) 黒田 知純 (大阪がん予)
杉村 和朗 (神戸大) 富樫 かつお (京都大)
中村 仁信 (大阪大) 山下 康行 (熊本大)
(敬称略・五十音順)

監事 今井 裕 (東海大) 後閑 武彦 (昭和 大)

事務局 廣橋 伸治
奈良県立医科大学 放射線医学教室内
〒634-0813 奈良県橿原市四条町840
TEL. 0744-29-8900 (直通) FAX. 0744-24-1933
E-mail : office@jsar.jp

会場案内図



- ◆JR品川駅中央改札港南口（東口）より徒歩2分
- ◆JR山手線、京浜東北線、東海道線、横須賀線、東海道新幹線等
- ◆羽田空港から京浜急行で14分
- ◆成田空港から成田エクスプレスで直通70分